

来月の消費予報

消費意欲指数は前年並みも、夏の季節消費への意欲は、男性を中心に高まりがみられる

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

8月の消費意欲指数は49.7点。前月比+0.6ポイント、前年同月比+0.2ポイントと、ほぼ横ばいとなりました。

8月の消費意欲指数



↑ 前月比 +0.6 ポイント

↑ 前年同月比 +0.2 ポイント

↑ : 前月比/前年同月比で上昇 ↓ : 前月比/前年同月比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(8月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリー別 消費意欲



★ UP : 前年同月比で20人以上増加 ● DOWN : 前年同月比で20人以上減少

「来月(8月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月と比較して作成。

8月のポイント

Point 1 : 季節消費は、コト消費を中心に一定の高まりが期待できそう

夏休み、お盆、帰省などのある8月は、2014年以前は50点を上回る高い消費意欲指数を示していましたが、2015年以降は伸び悩むようになり、今年も前月比、前年同月比ともに横ばいの49.7点となりました。

しかし、消費意欲指数の理由(自由回答)を見ると、「夏休み、お盆など連休があるから出費が増えそう」といった季節消費への意欲を挙げる声は増加(16年8月146件→17年8月176件)。特に買いたいモノ・利用したいサービスの内訳を見ても、「日用品」「車・バイク」などのモノ消費は前年から減る一方、「レジャー」「外食」「旅行」といった夏らしいコト消費は前年から増加しています。また、不景気などの社会的要因を心配する声も減少しており(16年8月48件→17年8月10件)、消費意欲指数は横ばいながら、季節消費は一定の盛り上がりが見えそうです。

Point 2 : 女性の意欲低下を男性が下支え

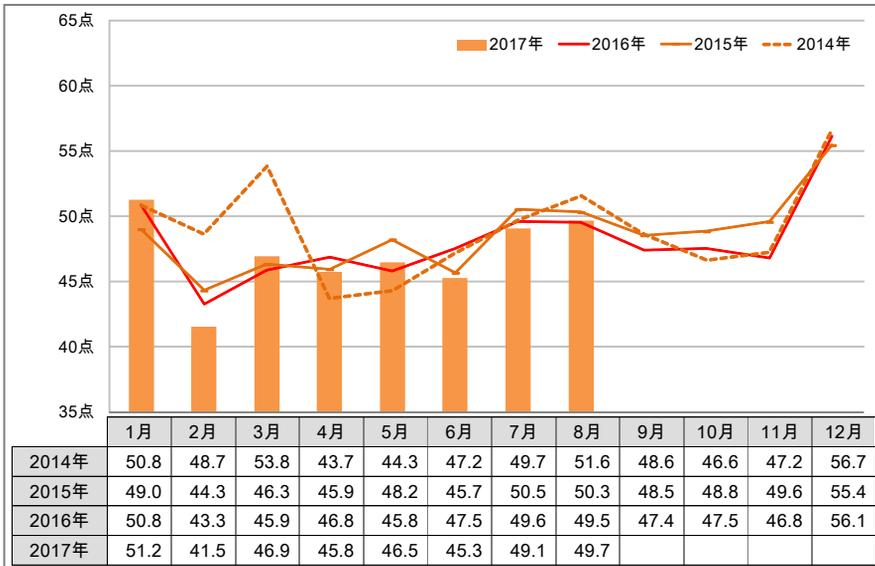
消費意欲指数の前年同月比を男女別に見ると、男性が+1.2ポイントであるのに対し、女性は-0.9ポイントとなっています。また、特に買いたいモノ・利用したいサービスにおいても、男性は前年同月比で+2.7ポイントで、「旅行」「外食」「ファッション」「レジャー」の4項目で20人以上増加しているのに対して、女性は前年同月比-2.4ポイント、「旅行」「飲料」「理美容」「日用品」の4項目で20人以上減少と、男性とは逆の傾向を示しており、女性の低調ぶりを男性が下支えしているようです。

消費意欲指数

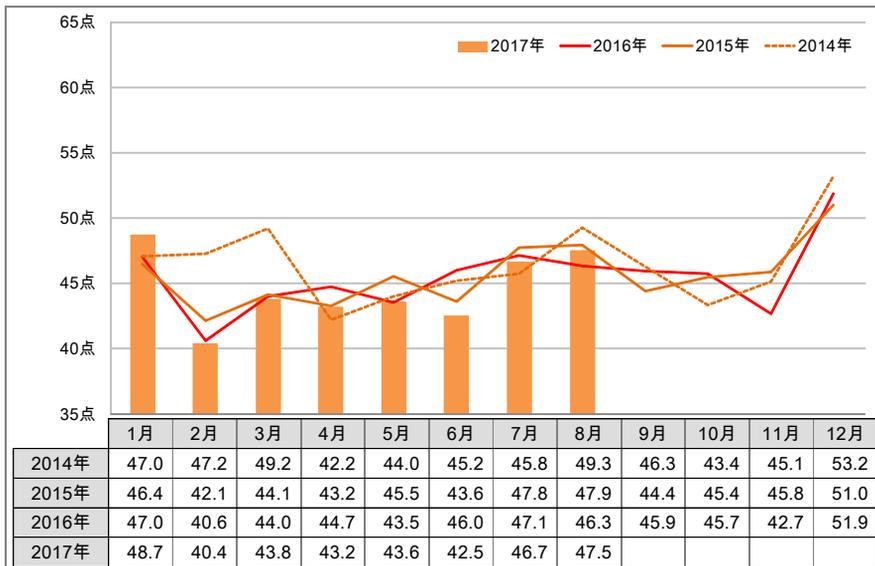
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(8月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

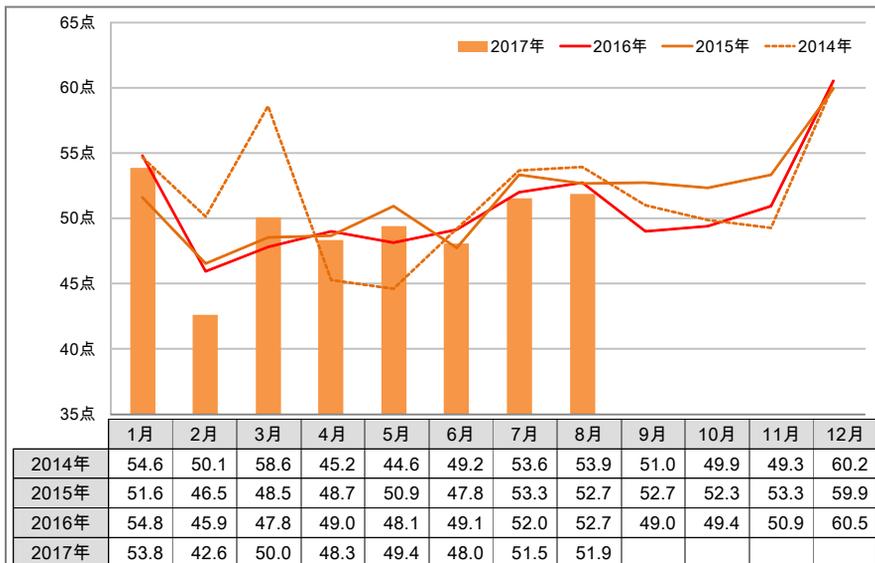
【全体】



【男性】



【女性】



■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【季節消費への意欲がある】

- ・8月はフェスやイベントが多く、出かける機会が多いので、そういった場所に行くといろいろと買ってしまいそうだし、買いたい(90点・男性26歳・東京都)
- ・お盆休みがあり、いろいろと欲しいものが増えそうだから(80点・男性33歳・神奈川県)
- ・暑いから飲み物やアイスが食べたい。ビールも飲みたい(80点・男性44歳・大阪府)
- ・8月は仕事で夏季休暇として5連休をとることができるため、家族そろって旅行に行きたいです(100点・男性54歳・大阪府)
- ・夏の暑い時に外出したくないが、お盆休みには家族で外出や外食などしうだから(70点・男性61歳・大阪府)

- ・夏休みはいろんなイベントをやるので、全力で遊びたい(100点・女性28歳・東京都)
- ・7月のセールの特典で物欲はある程度満たしているが、8月は休みがあり、旅行等にて消費意欲がそれなりに増すと思われるため(70点・女性31歳・東京都)
- ・お盆休みに旅行に行くから、お土産を買いたいと思っている(80点・女性44歳・愛知県)
- ・休みが多いので、外出の機会が増えると思い、またバーゲンもあるので(70点・女性51歳・大阪府)
- ・旧盆で、子供達家族が帰ってくる(100点・女性67歳・三重県)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・利用したいサービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(8月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2017年8月(%)	前月比(pt)	前年同月比(pt)
全体	29.2	-1.8	+0.1
男性	29.3	-1.1	+2.7
女性	29.1	-2.5	-2.4

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(438人)

順位	カテゴリー	8月(人数)	前年同月比
1	旅行	233	+7
2	ファッション	219	+18
3	外食	197	+11
4	レジャー	167	+17
5	食品	147	-3
6	飲料	115	-12
7	書籍・エンタメ	101	-2
8	家電・AV	87	-3
9	化粧品	80	-5
10	理美容	66	-13
11	装飾品	54	-4
12	日用品	52	-24
13	インテリア用品	48	+2
14	パソコン・タブレット・周辺機器	45	-5
15	スマートフォン・携帯電話	35	-1
16	車・バイク	25	-10

参考:男性(220人)

順位	カテゴリー	8月(人数)	前年同月比
1	旅行	134	+35
2	外食	93	+22
3	ファッション	91	+27
4	レジャー	90	+30
5	書籍・エンタメ	65	+16
6	食品	62	+9
7	飲料	57	+13
8	家電・AV	53	+1
9	パソコン・タブレット・周辺機器	35	-1
10	装飾品	28	+11
11	スマートフォン・携帯電話	25	-3
12	理美容	24	+13
13	車・バイク	22	-5
13	日用品	22	+5
15	インテリア用品	21	+6
16	化粧品	5	-2

参考:女性(218人)

順位	カテゴリー	8月(人数)	前年同月比
1	ファッション	128	-9
2	外食	104	-11
3	旅行	99	-28
4	食品	85	-12
5	レジャー	77	-13
6	化粧品	75	-3
7	飲料	58	-25
8	理美容	42	-26
9	書籍・エンタメ	36	-18
10	家電・AV	34	-4
11	日用品	30	-29
12	インテリア用品	27	-4
13	装飾品	26	-15
14	パソコン・タブレット・周辺機器	10	-4
14	スマートフォン・携帯電話	10	+2
16	車・バイク	3	-5

<全体にのみ下記基準で色付け>

オレンジ:前年同月比で20人以上増加

青:前年同月比で20人以上減少

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(8月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(8月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

サンプル数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	124	150	189	140	148	751
女性	121	147	185	138	158	749
合計	245	297	374	278	306	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2017年7月6日(木)～10日(月)(2012年4月から調査開始/毎月上旬に実査)

調査機関 株式会社 東京サーベイ・リサーチ

<備考>

「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(十河・酒井) TEL.03-6441-6450
株式会社博報堂 広報室(西尾・大足) TEL.03-6441-6161

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<http://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2017-07/>)からダウンロードしていただけます